

## 2月の救急外科医院

日	住 所	病 院 名	電 話
5	吉田 町	県立 吉田 病院	02569 2-5111
11	巻 町	桑 原 医 院	02567 2-2221
12	巻 町	竹 前 医 院	02567 3-2809
19	吉 田 町	県立 吉 田 病 院	02569 2-5111
26	巻 町	町 立 巷 病 院	02567 2-3111

末梢血管（細動脈）は収縮する。体温が下がる。寒さ冷たさ（寒冷刺激）から身を守ることが重要です。

とんから出た時、室内寒い廊下や便所へ行時、冷たい水に手を入れた時、入浴のため衣服を脱いだ時、寒い戸外へ出た時、毎日の暮らしの中で、寒さ、冷たさによって、血圧が上がる機会は多いものです。そして、彼らが、脳卒中発作のがねになつてゐるので、血圧の薬を飲んでいい——とか、すこしぐら

## 人病を考える(11) 脳卒中予防のために(4)

## 一三才兒檢診

期日 2月15日（水）  
場所 役場第二会議室  
受付 午後12時45分～1時15分  
対象 昭和50年11月、12月  
昭和51年1月生まれの者  
前回未受診者

慣れているからと、無理しないようにしましよう。  
仕事は手袋を使い、できればお湯にします。外出時  
には、手袋、えりまき、ぼうし、マスク等を使い、  
暖い身じたぐ必要があります。浴室や脱衣所はあたたか  
て、とくに高齢の方には、夜間の排尿は便器（しびら  
等）を使用されることをお勧めしたいものです。  
また室内では、こたつだけなく、ストーブを使  
う、すきまを塞ぐなど、より暖く暮らすための工夫  
が、必要でしょう。

日本家屋は、夏に涼しく、  
ようによく作られています。冬は冷え込みます。そこ  
が寒さが厳しい北海道の特徴です。東北地方と  
卒中発症率が

## -乳 兒 檢 診

期日 2月22日(水)  
場所 役場第二会議室  
受付 午後1時～1時30分  
対象 昭和52年4月、5月、10月、  
11月生まれの者  
前回未受診者

か、高血圧・脳卒中・四肢  
つながります。  
③病気と仲良くしよう！  
同時にからだに合ったな  
きかた、運動をして、休  
をじゅぶんとり、あなたの  
生活のリズムを作りま  
よう。これらの動き<sup>II</sup>精  
面が血圧に大きく作用して  
いることも忘れてはな  
く、気泡らしとなる趣味や  
楽しみも見つけたいもので  
す。  
血圧が高いからと、必  
以上に心配したり、くよく  
よしないでください。  
定期的な診察や必要で  
れば薬物治療など主治療に  
よく相談しましょう。自ら  
の健康状態を常に見守  
てくれる人がいることは、大  
たいへん心強いものです。

低いのです。これは家の暖房に影響があると言っています。

また、各地で高血圧症診断された人々が集まり、話し合いや励まし合い、卒中などの余病を出さないための勉強会などをする「高血圧友の会」が作られ、

今月の心配ごと相談日	
二月一日	間瀬尊光先生
相談員	岡本正明
二月十日	五十嵐淨善
相談員	岩室村役場
二月二十日	渡辺洞雲
相談員	佐藤九三五
二月二十五日	夏井公会堂
相談員	阿部ヤノ
二月二十九日	佐藤九三五
相談員	岩室公会堂
二月三十日	青柳正彦
相談員	石添義雄
時間はいずれも午後一時から四時まで。	
二月二日	9時～12時
和納一・三・四、 大部份	和納一・三・四、 大部份
2月16日	原・津雲田全部
2月2日	9時～12時
和納九区全部	13時30分～16時
9時～12時	石瀬・久保田・ 猿ヶ瀬・金池の 全部

時 期		時 期	
氏名	年令	氏名	年令
神石 佐藤保	石川崎山	山稻有阿田	鷺小阿大
裕義	百正	上垣坂部	中沢野部岩
恭孝	百合	金太一	ソ作マミキ 静
子一	子博	市博郎	カ治スネク 男
		77 42 77 82 87 88 82 87 66	
卷和	岩寺	12 12 12 12 12 12 12 12 12	
納	泊田	12 12 12 12 12 12 12 12 12	
町2	室町	25 25 24 23 16 13 12 4 3	
所			
和	岩	テ定秀隆	光
納	和	勇ル	孝巖
2	室	イ雄藏策	弘
所			
夏	夏	和和間	和夏
井	井	納納瀬納	原
井	井	5 6 5 1	井